

この特報は、4/30 発行の「もも・ネクタリン特報No.⑤」の薬剤散布（散布目安は、5/15～23 頃）が終わってから行なう防除を掲載しています。特報No.⑤の内容を再度、ご確認ください。

**【重要なお知らせ】** 新型コロナ感染拡大防止のため、当面の間、講習会等の開催を自粛いたします。ご不便をおかけしますが、時期の栽培管理資料等は各特報の中で記載する予定です。尚、詳しくは担当技術員までお問い合わせ下さい。

せん孔細菌病の発生状況については、次ページをご覧ください。

もも

## 第6回 定期散布

※せん孔細菌病対策として展着剤をアビオンEに変更しています

散布時期 5月下旬～6月初旬（第5回 定期散布から10日後）

・散布日の目安：5月25日～6月3日

散布日 5・6月 日

散布量 リットル

散布薬剤 水 100リットル当り

アビオンE（固着性展着剤） 100ml

アルバリン顆粒水溶剤 50g （収穫前日まで、3回以内）

トレノックスフロアブル 200ml （収穫7日前まで、5回以内）

マイコシールド 66g （収穫21日前まで、5回以内）

散布量 10アール当り 500リットル

混用順 水 ⇒ 展着剤 ⇒ アルバリン顆粒水溶剤 ⇒ トレノックスフロアブル ⇒ マイコシールド

対象病害虫 せん孔細菌病、黒星病、灰星病、ホモプシス腐敗病、モモハモグリガ、アブラムシ類、シンクイムシ類

## 特別散布

※せん孔細菌病対策として展着剤をアビオンEに変更しています

散布時期 6月上旬（第6回 定期散布から7～10日後）

・散布日の目安：6月2日～10日

散布日 6月 日

散布量 リットル

散布薬剤 水 100リットル当り

アビオンE（固着性展着剤） 100ml

マイコシールド 66g （収穫21日前まで、5回以内）

散布量 10アール当り 500リットル

混用順 水 ⇒ 展着剤 ⇒ マイコシールド

対象病害虫 せん孔細菌病

次ページにはネクタリンの防除が掲載されております。

# ネクタリン

## 第6回 定期散布

※せん孔細菌病対策として展着剤をアビオンEに変更しています

**散布時期** 5月下旬～6月初旬 (第5回 定期散布から10日後)  
 ・散布日の目安: 5月25日～6月3日

散布日 5・6月 日  
 散布量 リットル

**散布薬剤** 水 100ℓ当り

アビオンE (固着性展着剤)	100ml	
アルバリン顆粒水溶剤	50g	(収穫前日まで、3回以内)
トレノックスフロアブル	200ml	(収穫30日前まで、5回以内)
マイコシールド	66g	(収穫28日前まで、5回以内)

**散布量** 10アール当り 600ℓ

**混用順** 水 ⇒ 展着剤 ⇒ アルバリン顆粒水溶剤 ⇒ トレノックスフロアブル ⇒ マイコシールド

**対象病害虫** せん孔細菌病、黒星病、灰星病、シンクイムシ類、モモハモグリガ、アブラムシ類、カメムシ類

### 【今後の管理作業について】

#### ● かん水について (表1)

- ・10日以上、雨が降らない場合は、右表を参考にかん水を行なう。
- ・10a当り1ミリのかん水を行うには、水量1tが必要です。
- ・保水性の低い砂質土壌や根域の浅い土壌では、1回のかん水量を少なくし、間隔を短くする。
- ・水源が少ない場合は、細根があると思われる部分に重点的にかん水する。

表1 もも時期別のかん水量の目安 (成木)

時期	10a当 かん水量
5～8月 (成熟10日前まで)	20ミリ
成熟10日前～成熟期	5ミリ

#### ● 予備摘果について (表2)

- ・満開から30日後までに実施する。
- ・結果枝中央部の側方か下方の葉がある部分の果実を残す。短果枝は先端部を残す。上向きの果実は摘む。また、骨格枝上や結果枝基部の果実は摘む。
- ・注意: 結実の良い品種から実施する。  
川中島白桃などで結実不足が心配される場合は、結実が判明してから実施する。

表2 もも 結果枝別着果量の目安

結果枝	予備摘果	仕上げ摘果
長果枝	2～3個	1～2個
中果枝	1～2個	0～1個
短果枝	0～1個	0～1個

#### ● 仕上げ摘果 (表2)

- ・満開40～50日後頃に実施
- ・晩生種で「せん孔細菌病」発生園は、被害果を見極めるため摘果時期を遅らせる。